

Aida Lazzez (チュニジア)

アイダ・ラッセズ

2005年よりチュニジア・スファックスオリーブ研究所主席研究員。オリーブの学術研究・生化学研究を1998年より始める。オリーブの品種、果実成熟度、搾油方法、栽培地理的環境や気候環境などによるオリーブオイルの品質への影響を継続的に研究。最近は、オリーブオイルに含まれる成分研究により、栽培環境や品種・熟度などを解明する研究にも着手し、オリーブオイルの機能性成分の向上に寄与する要因の研究などを行う。

オリーブの栽培学及びオリーブオイルの品質に関する著作多数。Med Mag Oliva 他国際的な共同研究やシンポジウムへの参加多数。

チュニジアとスペイン、イタリアなどの国際機関との共同研究や品質管理委員会の顧問を務め、2009年には国際オリーブ協会及びスペイン・ハエン大学にてテイスティングパネルのカリキュラムを修了、オリーブオイルの品質鑑定家としてチュニジアを代表する鑑定士の一人。チュニジア国立オリーブオイル研究所の化学委員会メンバー。